

入札情報サービス(統合PPI)は簡単に参加できるポータルサイトです!

一般財団法人 日本建設情報総合センターでは、公共事業発注機関等の皆様へ、入札情報公表サイトを提供しております。

■入札情報の提供が必要です

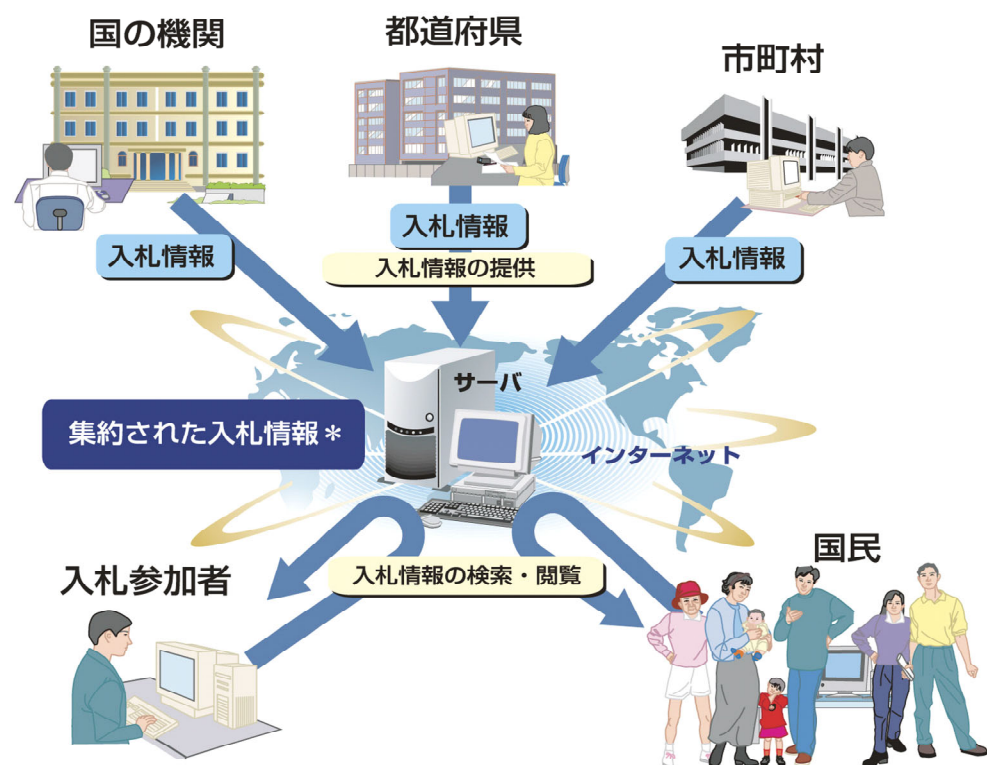
「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」では、発注者の義務として、“毎年度の発注見通しの公表”、“入札・契約に係る情報の公表”が求められています。

■それは一元化されたものであることが望まれています

政府「公共事業支援システム(官庁営繕業務を含む)の業務・システム最適化計画」(平成18年3月31日各府省情報化統括責任者(CIO)連絡会議決定)では、国民等への情報提供の一元化による利便性向上として、「入札情報公表サイトの一元化」の実施が掲げられています。

■JACICでは一元的なポータルサイトを提供しています

JACICでは公共事業発注機関の発注案件を一元的に検索・閲覧する機能を備える「入札情報サービス(統合PPI)」を運営しています。国民や企業等の利用者は、本サービスの持つ一元的検索機能により、国と自治体等の機関を一度に検索・閲覧することができます。



* 検索するための目次情報(検索情報)のみを統合PPIサーバに収集し、発注機関のサーバに蓄積された公告本文等を検索・閲覧する仕組みです。

入札情報提供概念図

入札情報とは?

入札情報とは、公共工事発注機関等の工事・業務における“発注の見通し”、“入札公告等”、“入札の経過”のことです。

○発注の見通し：工事名称、入札契約方式、工事場所、工事種別、入札予定時期、工事概要等

○入札公告等：工事名称、入札契約方式、工事場所、工事種別、公告日、受付期限等

○入札の経過：工事名称、入札契約方式、予定価格、落札者名、落札価格

契約者名、契約金額等

入札情報サービスの仕組みは?

発注の見通しは、電子入札コアシステムに付属する機能で情報を入力します。

入札公告等と入札の経過は、電子入札コアシステムで入力された情報をベースにして付属する機能を用いて作成します。

それらの情報はJACICの入札情報サービスへ送信するだけで、自動的に登録されます。

入札情報を公表するための機材は?

上記のとおり、電子入札コアシステムの付属機能を使用するだけでですので、電子入札コアシステムを導入している発注機関では、新たな機材やアプリケーションソフトの購入は必要ありません。

なお、入札情報サービスを使用するためには、電子入札コアシステムに含まれている入札情報作成機能を有効化し、これに合わせてシステムの設定を調整する等の作業が必要となります。